

## 大阪回生リハビリテーション研究会 第4回 特別講習会風景

### 大阪回生リハビリテーション研究会 第4回 特別講習会

#### 「運動刺激による筋の可塑性」④

—伸張刺激は筋萎縮軽減に有効か？～動物実験による検証～

講師:河上 敬介 先生(名古屋大学 医学部保健学科理学療法学専攻)

日時: 2009年4月25日(土)

会場: 大阪回生病院リハビリテーションセンター

大阪回生リハビリテーション研究会 Osaka Kaisei Rehabilitation Society

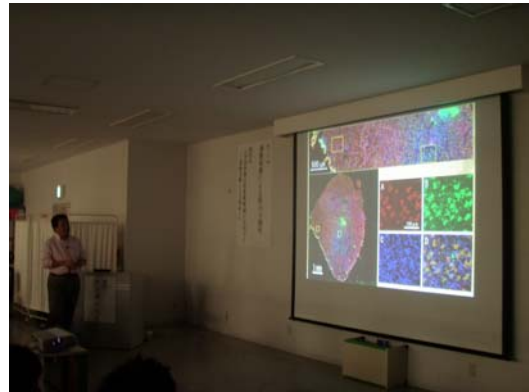
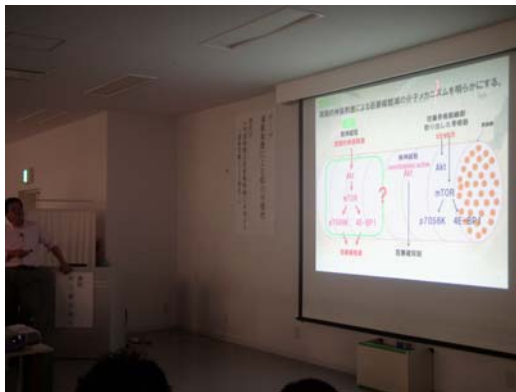
URL: <http://www.kaisei-hp.co.jp/center/rihabiri.html>

今回はお忙しい中、河上敬介先生を講師にお迎えし、ご講義いただきました。伸張刺激を与えることで、体内で生じる筋萎縮が軽減するメカニズムを詳しくお話していただきました。また、ラットを用いて検証された結果をお話いただいたことで、より臨床での結び付きを深めることができ、即、実践に用いることができる知識を得ることができました。

河上敬介先生、ならびに受講生の皆様、本当にありがとうございました。

#### <講義>





### <アンケート集計>

#### ① 一番興味をもてたこと

- ・ 伸長刺激に対する筋の反応
- ・ 筋萎縮に対する伸張刺激、時間、強度、頻度について
- ・ 筋衛星細胞、筋線維の回復
- ・ 筋萎縮軽減に食事（タイミング）が関連しているという点
- ・ 伸張刺激の時間・頻度と筋萎縮抑制の関係

#### ② 疑問に思ったこと

- ・ Akt を活性化させるには伸張刺激以外に何かあるのか
- ・ 動物実験での証拠だが人体では？ほかの動物では？

#### ③ 難しく感じたところ

- ・ Akt → mTOR → p70S65、4E-BP1 の流れに対すること
- ・ タンパク質の働き・機能
- ・ 筋の染色で定量的に評価できる

#### ④ 感想

- ・ 新たな視点が出て、非常に勉強になったと思います
- ・ ミクロの世界ですが、メカニズム等大変分かりやすく内容も面白かったです
- ・ 委縮に対して細胞レベルで考えることができました
- ・ 日ごろ頻回に実施しているストレッチ手技もエビデンスをもって行えば工夫によってもっと効果的にできるのだとわかった
- ・ 周期的伸張刺激を行う際、筋委縮軽減に効果が得られると学ぶことができたことは臨床上、とても有意義なものとなりました。
- ・ OPLLなど不全損傷の患者さんなどにどんどん利用していきたい
- ・ 最後にダイジェストで聞くことができ参加できてよかったです